地域の皆さまとともに ～地域密着型金融について～

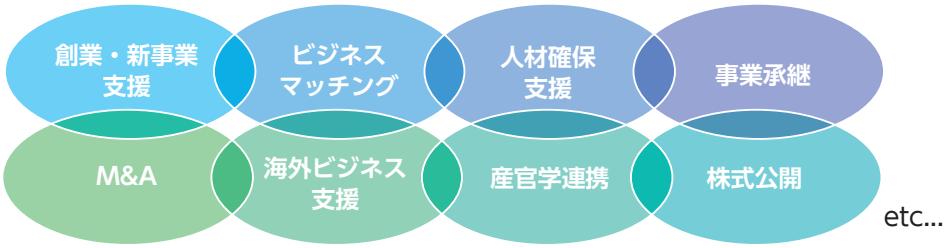
紀陽フィナンシャルグループでは、地域のお客さまとのリレーションシップを強化し、地域金融の一層の円滑化に資するとともに、産（地域企業等）・官（地公体等）・学（大学等）とも連携し、地域経済の発展に取り組んでおります。
地域のお客さまのニーズに対応した総合金融サービスのご提供を通じ、持続的な成長の実現を目指しています。

1 地域密着型金融の基本的な取組姿勢

地域のお客さまとのリレーションシップを強化し、地域金融の一層の円滑化に資するとともに、産（地域企業等）・官（地公体等）・学（大学等）とも連携し、地域経済の発展に取り組みます。

1. お客さまの良き相談相手となることを目指します。（コンサルティング機能の発揮）
2. 地域経済の発展・活性化へ積極的に参画いたします。
3. 地域やお客さまに対する積極的な情報発信を行います。

紀陽銀行が目指す銀行像としている「銀行をこえる銀行へ」の実現に向けた活動は、この取組姿勢に沿った内容になっております。



2 地域における経済の活性化に向けての態勢

地域のお客さまに対して、紀陽フィナンシャルグループ各社だけでなく、各種公的機関や教育機関、外部の専門的ノウハウを有する機関とも連携し、より充実したサービスを提供してまいります。

3 「金融仲介機能のベンチマーク」について

平成28年9月、金融庁より「金融仲介機能のベンチマーク」(※)が公表されました。当行は「中小企業向け貸出を起点としたビジネスモデル」を展開するにあたり、ベンチマークを効果的に活用することで、地域における存在感の向上を図り、地元企業の成長と発展及び地域経済の活性化に一層貢献してまいります。当行が採用するベンチマークについて以下に記載いたします。

※「金融仲介機能のベンチマーク」とは
金融庁が、金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価できる多様な指標を策定、公表したもので、具体的な項目は、すべての金融機関が金融仲介の取り組みの進捗状況や課題等を客観的に評価するために活用可能な「共通ベンチマーク」と、各金融機関が自身の事業戦略やビジネスモデル等を踏まえて選択できる「選択ベンチマーク」、そして各金融機関が任意・独自に設定する「独自ベンチマーク」で構成されています。

■共通ベンチマーク一覧

取引先企業の経営改善や成長力の強化	
❶ 当行がメインバンクとして取引を行っている企業のうち、経営指標(売上・営業利益率)の改善や就業者数の増加が見られた先数、及び同先に対する融資残高の推移	共通
取引先企業の抜本的事業再生等による生産性の向上	
❷ 当行が貸付条件の変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況	共通
❸ 当行が関与した創業、第二創業の支援先数	共通
❹ ライフステージ別の与信先数、及び融資残高	共通
担保・保証依存の融資姿勢からの転換	
❺ 当行が事業性評価に基づく融資を行っている与信先数・融資残高、及び全与信先数・融資残高に占める割合	共通

■選択・独自ベンチマーク一覧

中小企業向け貸出の増強(営業基盤の拡充)	
❶ 全取引先数と地域の取引先数の推移	選択
❷ メイン取引先数の推移、及び全取引先数に占める割合	選択
❸ メイン取引先に対する融資残高の増加額	独自
❹ 地元の中小企業与信先のうち、無担保与信先数、及び無担保融資残高の割合	選択
リレーションシップ・バンキングの展開	
❺ リレバン提案先数・融資残高、及び全取引先数・融資残高に占める割合	選択
❻ 創業支援先数、及び支援内容別件数	選択
❼ 販路開拓支援を行った件数	選択
❽ M&A支援先数	選択
❾ 事業承継支援先数	選択
❿ 事業再生支援先における合実計画策定先数、及び同計画策定先のうち未達成先の割合	選択
⓫ 中小企業に対する経営人材・経営サポート人材・専門人材の紹介数	選択
⓬ 地元企業に対する当行からの人的支援数(出向者数)	独自
⓭ REVIC、中小企業再生支援協議会の利用先数	選択
⓮ 取引先の本業支援に関連する中小企業支援策の活用を支援した先数(公的支援策を活用した先数)	選択
本業支援に関する行員のレベルアップ	
⓯ 取引先の本業支援に関連する研修等の実施回数、及び同研修等への参加者数	選択

■平成29年3月期における実績(抜粋)

ベンチマーク 選択 ❶全取引先数と地域の取引先数の推移(平成29年3月末)

	和歌山	うち年商1億円以上	大阪	うち年商1億円以上	東京	合計
地域別取引先数の推移	9,520先	3,019先	9,860先	5,853先	166先	19,546先

ベンチマーク 選択 ❷メイン取引先数の推移、及び全取引先数に占める割合(平成29年3月末)

	和歌山	うち年商1億円以上	大阪	うち年商1億円以上	東京	合計
メイン取引先数の推移	6,636先	2,101先	4,851先	2,184先	0先	11,487先
地域別取引先数に占める割合	69.7%		49.2%		—	58.8%

ベンチマーク 独自 ❸メイン取引先に対する融資残高の増加額(平成29年3月末)

	和歌山	うち年商1億円以上	大阪	うち年商1億円以上	合計
メイン取引先に対する融資残高増加額	88億円	20億円	237億円	228億円	325億円

4 地域密着型金融の取り組み

1 コンサルティング機能の発揮における活動

紀陽フィナンシャルグループの平成28年度の地域密着型金融の取り組みをご紹介させていただきます。

創業支援

地域で創業を目指すお客さまに対して、さまざまな支援に取り組んでおります。専門部門としてのピクシス営業室での対応や、創業のノウハウや実例をご紹介する支援セミナー、また外部団体と連携したご融資と各種ご相談の総合サービスも行い、お客さまの多様な課題解決の総合的なサポートに努めております。

ベンチマーク 共通③ 選択⑥ 創業支援先数、及び支援内容別件数

創業支援先数	平成29年3月期				
	140先	うち和歌山 93先	うち大阪 47先		
支援内容別件数 ❶創業計画の策定支援 ❷創業期の取引先への融資 ❸政府系金融機関や創業支援機関の紹介 ❹ベンチャー企業への助成金･融資･投資	平成29年3月期				
	支援❶	支援❷（プロパー）	支援❷（信用保証付）	支援❸	支援❹
	43件	8件	97件	5件	13件

創業支援セミナーの実施

「創業支援セミナー in わかやま」実行委員会の一員として、和歌山県内で創業予定や創業後間もないお客さまに向けて支援セミナー等を開催。創業の実例や成功ポイントに関する講演のほか情報交換の場として交流会を行っています。

創業支援セミナー in わかやま

創業者支援総合スキーム

地域で創業をお考えのお客さまを対象に、日本政策金融公庫、信用保証協会等との連携によって、事業計画の作成から低金利のご融資のご提案、また、事業開始後のさまざまな課題解決のお手伝いまで積極的に支援しています。

新たな事業展開に向けて

産･官･学と連携し、地場産業の活性化や新たな事業展開につながる研究開発などのサポートに努めております。

地元大学等との連携

地域経済の活性化と地場産業振興を目的として和歌山大学、和歌山県立医科大学、大阪府立大学、和歌山工業高等専門学校、近畿大学、桃山学院大学と連携協定を締結しております。提携大学のシーズを事業化する取り組みや、お取引先の事業拡大につながる取り組みを行っております。

紀陽イノベーションサポートプログラム

「紀陽イノベーションサポートプログラム」は、新たな事業展開を目指して大学や研究機関と共同開発を行っている事業者の皆さまから「研究開発テーマ」を募集し、優れたテーマに対して事業計画の策定支援や事業化までの課題解決など長期的なサポートを行う取り組みです。平成28年度は17の事業者さまからご応募があり、和歌山県2社、大阪府3社を採択し、支援計画の策定を開始いたしました。

販路開拓支援

商談会やビジネスマッチングの機会を利用し、お取引先の販路開拓の支援に努めております。「地方銀行フードセレクション」「ものづくりマッチング交流会」などの商談会にお取引先を誘致し販路開拓をご支援しております。また、外部提携先の情報や公的機関のネットワークを活用し、各商品に最適な販路開拓支援を行うほか、インターネットによる販路開拓や事業資金調達サービスのご紹介も行っております。

地方銀行フードセレクション 2016

ベンチマーク 選択⑦ 販路開拓支援を行った件数

内　容	平成29年3月期	
	国内	海外
販路開拓支援を行った件数	248件	10件

ビジネスマッチングの取り組み

内　容	実　績
相談件数	6,805件
成約件数	1,694件

国内のビジネス商談会の実施

名　称	実施時期	実　績
わかやま産品商談会 in 和歌山	平成28年9月	72社参加
地方銀行フードセレクション2016	平成28年11月	19社出展、即日成約27件、継続商談318件
わかやま産品商談会 in 大阪	平成29年2月	82社参加

クラウドファンディング

「クラウドファンディング」はインターネット上で個人投資家からの事業資金を募る仕組みです。地域の特色ある資源や地場産品を取り扱う事業者さまにご紹介し、販路拡大やファン作りのお手伝いをしています。

海外ビジネス支援活動

お取引先の海外進出ならびに外為業務に関する課題解決に向けた支援を強化するために「グローバル・サポート・デスク」を設置し、お客さまの海外ビジネス活動におけるさまざまなニーズにお応えしています。

当デスクでは、外部専門家と連携（コンサルティング会社等96社・公的機関29団体、平成29年3月現在）し、上海での商談会開催や、個別企業のニーズに応じた販売ルートや企業の紹介、海外進出の際の手続き支援等を実施しております。

FBC上海2016ものづくり商談会

海外進出支援の取り組み

内　容	実　績
支援取組先数	109先

海外ビジネス商談会等の実施

内　容	実施時期	実　績
海外ビジネス個別相談会	平成28年4月、6月、8月、11月、12月、平成29年1月	16社参加
FBC上海2016ものづくり商談会	平成28年9月	4社参加

地域の皆さまとともに ～地域密着型金融について～

人材確保支援

中小企業にとって、人材の確保は重要な経営課題となっているものの、大手企業に押され、依然、厳しいものとなっています。このため、和歌山大学、和歌山工業高等専門学校、近畿大学生物理工学部、桃山学院大学で合同企業説明会を行い、地元企業への就職機会を創出していくサポートを行っています。

具体的な取り組み

内　容	実施時期	実　績
和歌山大学 合同企業説明会	平成28年7月	48社参加、学生42名参加
和歌山工業高等専門学校 和高専企業合同説明会	平成29年3月	46社参加、学生160名参加
近畿大学 「生物理工学部」合同企業説明会	平成28年6月	19社参加、学生99名参加
桃山学院大学 合同企業説明会	平成28年10月	12社参加、学生58名参加

大規模災害対策に向けた支援

「南海トラフ巨大地震」などによる被害予想地域を営業エリアとする当行では、災害・事故時などの事業の継続・早期再開に備えた事業継続計画（BCP）のサポートに力を入れ、事業者の皆さま向けに「大規模地震対応模擬訓練」などを開催しています。災害時の緊急対応能力や危機管理能力の重要性を実感していただくとともに、危機的な状況下における事業継続計画（BCP）についての事例紹介なども行っています。

大規模地震対応模擬訓練

具体的な取り組み

内　容	参加企業数	参加人数
BCP策定講座	32社参加	134名
大規模地震対応模擬訓練（和歌山、田辺、堺）	68社参加	169名
BCPトップセミナー	31社参加	32名

製造業分野への取り組み

「企業支援アドバイザー」による支援

大手メーカー等に在籍していた高い専門性を持つ人材を「企業支援アドバイザー」として配置し、企業が有する技術への理解を深めることで、製造業の皆さまへの支援充実や生産性改善のサポートを行っています。

省エネ診断・工場診断サービス

企業のエネルギー利用状況を調査し、省エネ設備の導入によるコスト削減効果の試算を行う「省エネ診断」や、生産設備や生産体制の効率性等を診断する「工場診断」を専門的に行う企業や公的機関を事業者の皆さまにご紹介する活動を実施し、生産性向上やコスト削減のサポートを行っています。

医療・介護分野への取り組み

外部機関との連携による医療・介護分野の情報収集体制とコンサルティングの枠組みを充実させ、医療関連事業者のお客さま向けのセミナー等の開催や、個別のご相談に応じております。

医工連携セミナー in 和医大

医療チームによる活動成果

案件内容	平成28年度合計
提案件数	119件
融資件数	109件
うち新規開業	85件

セミナーの開催

内　容	実施時期	実　績
医工連携セミナー in 和医大	平成29年3月	42名参加

事業承継・M&A支援

法人の事業承継には税法や民法の関係で思わぬ障害が発生することがあります。後継者にスムーズに事業を引き継ぐための“気付き”をご提供する「事業承継セミナー」や、個別の相談会を開催しております。また、当行ではセミナーなどを通じて、経営課題解決方法としてのM&Aについて情報発信も行っております。

事業承継セミナー

ベンチマーク 選択 ⑧ M&A支援先数

内　容	平成29年3月期
M&A支援先数	114先

ベンチマーク 選択 ⑨ 事業承継支援先数

内　容	平成29年3月期
事業承継支援先数	360先

セミナーの開催

内　容	実施時期	実　績
中小企業経営者のための事業承継セミナー	平成28年12月	49名参加

経営改善支援「経営サポート室」

「経営サポート室」では、経営改善に向けてお客さまにふさわしい改善方法をご提案できるよう、営業店と一体となってお手伝いしております。

また、中小企業再生支援協議会、地域経済活性化支援機構（REVIC）などの外部支援機関や、認定支援機関による経営改善計画策定支援事業の利用を促進することで、お客さまに応じた最適な手法を選びながら、お客さまの経営改善や抜本的な再生に取り組んでおります。

ベンチマーク 共通 ❷ 当行が貸付条件の変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況

内　容	条件変更先総数	平成29年3月末		
		好調先	順調先	不調先
中小企業の条件変更先に係る経営改善計画の進捗状況	1,493先	132先	702先	659先

ベンチマーク 選択 ⑩ 事業再生支援先における合実計画策定先数、及び同計画策定先のうち未達成先の割合

内　容	平成29年3月末		
	合実計画策定先数❶	未達成先数❷	❷/❶
事業再生支援先における合実計画策定先数、及び同計画策定先のうち未達成先の割合	118先	14先	11.9%

ベンチマーク 選択 ⑬ REVIC、中小企業再生支援協議会の利用先数

内　容	平成29年3月期	
	REVIC	中小企業再生支援協議会
REVIC、中小企業再生支援協議会の利用先数	2先	10先

地域の皆さまとともに ～地域密着型金融について～

事業性評価の取り組み

紀陽銀行では、地域金融機関として期待されるコンサルティング機能を高めるため、お客さまの事業の成長可能性や持続可能性を適切に評価する「事業性評価」に取り組んでおります。具体的には、お客さまとの対話を通じ、情報を蓄積・整理・分析させていただくことで、「事業性評価」に基づく融資取り組みや、お客さまの発展、経営課題解決に向けた支援策をご提供してまいります。

ベンチマーク 共通 ⑤ 当行が事業性評価に基づく融資を行っている与信先数・融資残高、及び全与信先数・融資残高に占める割合

内　容	平成29年3月末	
	先数	融資残高
事業性評価に基づく融資を行っている与信先数、及び融資残高	600先	3,365億円
上記計数の全与信先数、及び全与信先の融資残高に占める割合	3.1%	16.5%

「経営者保証に関するガイドライン」への取り組み

紀陽銀行は、「経営者保証に関するガイドライン」を自発的に尊重し、遵守してまいります。

- **当行は、お客さまの経営状況等を勘案し、お客さまの意向も踏まえたうえで、経営者保証を求めない可能性について検討いたします。**
- **当行は、お客さまからお申出があれば、既にご契約した保証契約についても見直しを検討いたします。**
- **当行は、保証履行を求める場合には、お客さまの資産状況等を勘案したうえで、履行請求の範囲を検討いたします。**

平成28年度取組実績

	平成28年4月1日～平成28年9月30日	平成28年10月1日～平成29年3月31日	平成28年度合計
新規ご融資件数	8,542件	8,687件	17,229件
うち新規に無保証でご融資した件数	1,319件	1,307件	2,626件
新規融資に占める経営者保証に依存しないご融資の割合	15.44%	15.05%	15.24%

※大企業・地方公共団体等を除いた件数

金融円滑化への取り組み状況について

中小企業金融円滑化法の期限到来後においても、紀陽銀行の金融円滑化に向けた基本方針は変わりません。

中小企業金融円滑化法は平成25年3月末をもって期限を迎えましたが、法期限到来後も金融円滑化に向けた基本方針は何ら変わるものではありません。

これまでどおり、お客さまからの経営課題や資金繰り等のご相談に対しては、ご要望を真摯にお伺いし、丁寧な対応に努めてまいりますので、どうぞお気軽にお取引の本支店へご相談ください。

貸付条件の変更等のお申込みを受けた貸付債権の額および件数

	債務者が中小企業者である場合		債務者が住宅資金借入者である場合	
	件　数	金　額	件　数	金　額
貸付条件の変更等のお申込みを受けた貸付債権	37,034件	10,741億円	2,188件	345億円
うち、実行に係る貸付債権	34,814件	10,162億円	1,595件	242億円
うち、謝絶に係る貸付債権	943件	291億円	139件	27億円
うち、審査中の貸付債権	302件	73億円	9件	1億円
うち、取下げに係る貸付債権	975件	214億円	445件	73億円

(注)・記載している計数は、平成21年12月4日以降平成29年3月末までの累計。
・謝絶に係る貸付債権には、貸付条件の変更等のお申込みの日から3ヵ月を経過したことにより謝絶として計上しているものを含みます。

金融円滑化のご相談やお申込み受付窓口

相談受付専用フリーダイヤル　0120-760-892	平　日 9:00～19:00 土日祝10:00～16:00
苦情相談専用フリーダイヤル　0120-212-289	平　日 9:00～17:00

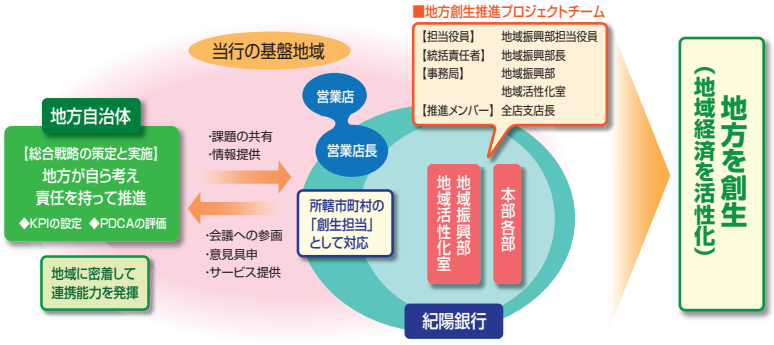
※金融円滑化への取り組みについては、株式会社紀陽銀行ホームページ等を通じてお知らせしております。

URL　http://www.kiyobank.co.jp/kinyu_enkatsuka.html

2 地方創生に向けた取り組み

地方自治体では地方創生に向けた取り組みとして、必要に応じて外部機関を交えた会議を開催し「地方版総合戦略」を策定しました。紀陽銀行では平成27年4月より「地方創生推進プロジェクトチーム」が始動し、「地方版総合戦略策定会議」に参画するなど、地方自治体の取り組みをサポートしました。今後も地方自治体との連携を強め、活動を本格化してまいります。

当行の地方創生に向けた取り組み（全体像）



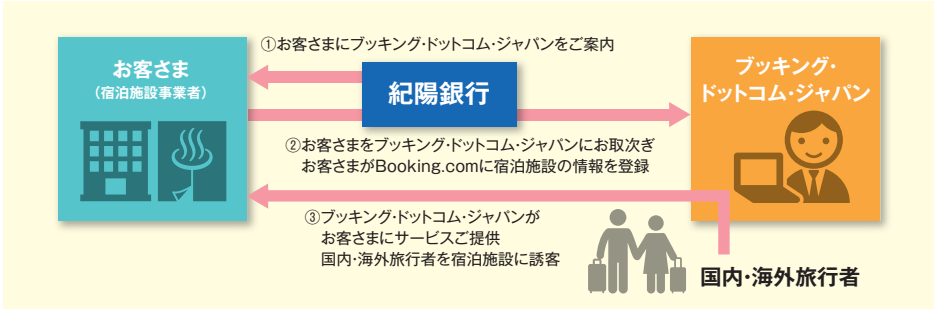
古民家等の歴史的資源を活用した地域活性化支援

古民家活用の第一人者である一般社団法人ノオトと連携し、営業エリア内の古民家等を活用した観光振興による地域活性化支援に取り組んでいます。その一環として、古民家等の活用を実際に検討されている方を対象に、平成28年10月に「わかやま古民家活用セミナー」を、平成28年11月、12月には「わかやま古民家活用ワークショップ」を開催し、古民家活用の手法等について知っていただく機会をご提供いたしました。

また、平成29年6月30日には和歌山県有田郡湯浅町、同年7月3日には和歌山県有田市と、一般社団法人ノオト、当行との三者による包括連携協定を締結し、歴史的資源を活用したまちづくりを協力して進めていくことで合意いたしました。今後、和歌山県内のほかの地域でも同様の取り組みを進めてまいります。

「ブッキング・ドットコム」との業務提携

世界最大のオンライン宿泊予約サイト「ブッキング・ドットコム」の開発・運営会社であるオランダのBooking.com B.V.と業務提携し、当行営業エリア内のお客さまの宿泊施設の魅力を国内外の旅行者に発信しています。なお同社との業務提携は国内銀行初です。



「地方自治体と連携した住宅ローン」の取扱い

平成27年9月より「地方自治体と連携した住宅ローン」の取扱いを開始いたしました。これは地方自治体が推進する移住・定住促進活動を金融商品の面から支援するものです。当行の営業エリアである和歌山県、大阪府、奈良県の各地域において、移住・定住を考えておられるお客さまに向けて、金利引下げ幅を拡大した住宅ローンをご提供しております。

（※金利引下げ幅はお申し込み内容等により個別に決定いたします。）

地方自治体と連携した住宅ローンの取扱状況

取扱開始日	地方自治体名
平成27年9月10日	和歌山県
平成27年9月11日	大阪府泉佐野市
平成27年10月1日	奈良県五條市
平成28年2月8日	和歌山県橋本市
平成28年2月8日	和歌山県有田市
平成28年6月1日	和歌山県有田郡湯浅町
平成28年6月1日	和歌山市
平成28年6月15日	大阪府泉南郡岬町
平成29年1月10日	大阪府貝塚市
平成29年4月3日	大阪府河内長野市
平成29年7月3日	大阪府富田林市

（平成29年7月3日現在）

「産業調査レポート」の発刊

これまでは主に行内で活用してきた営業エリアの主要産業・企業領域についての産業調査レポートを、事業者のお客さまにもお役立ていただけるよう内容刷新しました。医療、観光など業界別に基礎知識や最新動向などをとりまとめており、ビジネスデータとしてご活用いただくことが可能です。

地域の皆さまとともに ～地域密着型金融について～

ファンドを通じた取り組み

当行では金融機関としての業務を通じた地方創生支援を地方銀行の責務と考え、地域の産業の成長をお手伝いする「紀陽6次産業化ファンド」と「わかやま地域活性化ファンド」の二つのファンドを設立しております。いずれのファンドもすでに和歌山県内の新事業に対して投資が実行されており、今後も新たな投資先に対する事業サポートに努めてまいります。

■農林漁業分野への取り組み

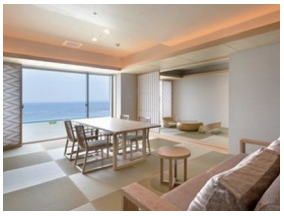
地域の農林水産分野の成長を支援し、関連する産業と連携して地域の活性化を図ることを目指し、平成26年1月、「紀陽6次産業化投資事業有限責任組合」（愛称:紀陽6次産業化ファンド）を設立いたしました。

平成27年6月には第一号案件として、株式会社食縁に投資を実行。国内養殖魚（ブリ）をフィレ加工、機能性フィルムで包装・凍結し、海外に輸出する事業に対して、当行は資金面のみならず、人的支援も併せて行っています。

■観光分野への取り組み

和歌山県の観光分野への取り組みを強化するため、株式会社地域経済活性化支援機構と他の和歌山の金融機関と連携し、「わかやま地域活性化投資事業有限責任組合」（愛称:わかやま地域活性化ファンド）を平成26年1月に設立いたしました。

平成27年10月には第一号案件として、加太まちづくり株式会社に投資を実行。また、平成28年10月には第二号案件として、和歌山県白浜町の宿泊施設「三楽荘」への投融資を実行しました。白浜温泉をはじめとする、豊富な観光資源に新たな魅力を提供し、観光客数の増加と白浜地域全体の経済活性化を支援いたします。



紀陽6次産業化ファンドの概要（設立:平成26年1月1日）

出資総額	10億円
存続期間	15年
運営会社	紀陽リース・キャピタル株式会社
投資対象	農林漁業者と第2次、第3次産業の事業者（パートナー企業）が共同で設立し、6次産業化法に基づく事業計画の認定を受けた事業体
組合員構成	株式会社紀陽銀行、株式会社みずほ銀行、株式会社農林漁業成長産業化支援機構（A-FIVE）、紀陽リース・キャピタル株式会社

6次産業化とは

第1次産業である農林水産業が、農林水産物の生産だけにとどまらず、それを原材料とした加工食品の製造・販売や観光農園のような地域資源を活かしたサービスなど、第2次産業や第3次産業にまで踏み込むこと。

わかやま地域活性化ファンドの概要（設立:平成26年1月24日）

出資総額	10億円
存続期間	8年
運営会社	紀陽リース・キャピタル株式会社、REVICキャピタル株式会社
投資対象	和歌山県およびその近隣地域の観光振興に資する事業者等
組合員構成	株式会社紀陽銀行、きのくに信用金庫、新宮信用金庫、紀陽リース・キャピタル株式会社、REVICキャピタル株式会社

※REVICキャピタル株式会社は株式会社地域経済活性化支援機構の100%子会社

「わかやま地域活性化ファンド」は株式会社地域経済活性化支援機構が関与する地域活性化ファンドの全国第1号ファンドです。

3 地域や利用者に対する積極的な情報発信

紀陽フィナンシャルグループでは、さまざまな方法で情報開示（ディスクロージャー）を積極的に行っています。

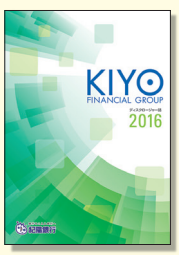
情報発信のための刊行物発刊

内　容	発刊時期
ミニ・ディスクロージャー誌の発刊	平成28年6月、12月
ディスクロージャー誌の発刊	平成28年7月、平成29年1月

会社説明会の継続的な開催

内　容	実施時期
地元株主向け説明会（和歌山市、田辺市、堺市、大阪市で開催）	平成28年7月

ディスクロージャー誌



銀行法に基づいてお客さまに開示を義務付けられている項目をはじめ、紀陽フィナンシャルグループの1年間の主な取り組みについて、詳しくご紹介している冊子です。

ミニ・ディスクロージャー誌

紀陽銀行の地域での取り組みや、経営に関する情報を掲載しております。

ホームページ

●紀陽銀行:ホームページ URL
http://www.kiyobank.co.jp/

経営情報の公表

内　容	実施時期	実　績
経営諮問委員会（アドバイザリーボード）の運営、議事内容のホームページでの公表	平成28年6月	第20回経営諮問委員会（アドバイザリーボード）を開催
	平成28年12月	第21回　〃

当行は、平成29年5月に制定した「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」に基づき、今後もお客さまに対し、真に喜んでいただける質の高い金融商品、サービス、的確な判断に役立つ情報を提供し、お客さまの発展に貢献してまいります。

お客さま本位の業務運営に関する基本方針

お客さま本位の業務運営に関する基本方針

株式会社紀陽銀行（以下、「当行」といいます。）は紀陽フィナンシャルグループの中核会社として、総合金融サービスの提供を通じ、地域社会の繁栄に貢献することを使命としております。

また、その使命を果たすべく、ステークホルダーに対する基本方針を具体化した「紀陽フィナンシャルグループの誓い」を定め、真にお客さまに喜んでいただける質の高い金融商品、サービス、的確な判断に役立つ情報を提供し、お客さまの発展に貢献することを掲げております。

当行は今まで以上により良い業務運営を実現するべく、以下に掲げる内容を「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」として公表するとともに、その取組状況や成果を定期的に確認し、見直しを行ってまいります。

1. お客さまの最善の利益の追求

当行は高い自己規律に基づき、皆さまからの期待に真摯に応え、その社会的責任を果たしていくため、「紀陽フィナンシャルグループ行動憲章」を遵守しております。その1つの項目である「質の高い金融サービスの提供」において、常に創意工夫を心がけ、金融商品・サービスの提供にあたり、お客さまの合理的な期待に応えられるよう必要な注意を払い、誠実かつ職業的な注意深さを持って業務運営に取り組むこととしております。

このようなお客さま本位の業務運営の重要性を経営陣自らが認識するとともに、営業現場の第一線まで広く浸透させ実践されるよう努めてまいります。

2. 利益相反の適切な管理

当行は「利益相反管理方針」を定めており、お客さまの利益が不当に害されることがないよう、法令等に従って適切に業務を遂行し、利益相反の管理を行ってまいります。

3. 手数料等の明確化

当行は金融商品・サービスの提供にあたり、お客さまがご負担する手数料やその他費用の詳細など、お客さまの投資判断に影響を与える重要な情報の開示を行うとともに、適切な資料に基づき、お客さまにご理解いただけるよう丁寧な説明を行ってまいります。また、お客さまに直接ご負担いただく費用がない保険商品においても、保険会社から販売代理店である当行に支払われる手数料を自主的に開示いたします。

今後も、お客さまにご負担いただく手数料に見合った付加価値の高いサービスを提供することはもちろん、商品提案や説明手法の高度化などお客さまのご期待を上回るサービスの提供を目指してまいります。

4. 重要な情報の分かりやすい提供

ご提案する金融商品・サービスの内容についてお客さまに十分ご理解いただけるよう、特性やリスク・リターン、経済環境及び市場動向等について、様々なツールを活用し、適切かつ十分な情報提供に努めてまいります。また、お客さまの投資経験や財産状況、商品のリスク度合い等を考慮し、お客さまの立場に応じた情報の提供を行ってまいります。

一方、不確定な事項に対する断片的で誤解を招くような情報や、事実と異なる情報の提供は決して行いません。また、お客さまに提供する説明資料やホームページでの商品案内等につきまして、より分かりやすさを意識した表示内容に努めてまいります。

5. お客さまにふさわしいサービスの提供

当行は「勧誘方針（金融商品の勧誘に関する方針）」を定め、お客さまのご意向と実態に適した金融商品・サービスをご選択いただけるよう努めております。また、安心してお取引を継続していただくために、お客さまの保有資産の現状報告を行うとともに、金融商品やお取引に関する適切な情報提供を継続して行い、お客さまそれぞれに応じたポートフォリオ分析等により、必要に応じて保有資産の見直しのご提案を行ってまいります。

お客さまのライフスタイルやニーズに応じたソリューション営業を通じて、運用商品のみならず、相続・資産承継等のサポートを含めたコンサルティングサービスの提供に努めてまいります。

6. 従業員に対する適切な動機づけの枠組み等

当行はお客さまの信頼を獲得するべく、より高いコンサルティング能力を発揮し、質の高い金融サービスを提供するよう行内教育、研修の充実に努めてまいります。また、業績評価体系におきましても、コンプライアンスの観点や、お客さま満足に直結する預かり資産残高の増加を重要な指標として位置づけております。こうした行内研修、業績評価体系を通じ、お客さまの立場に立った営業を重視する姿勢を徹底し、お客さま満足向上に向け行員を適切に動機づける枠組みを整備してまいります。

以上

お客さまのニーズに合わせた商品・サービスのご提供

紀陽JCBデビットカード

お買い物のお支払金額がその場で預金口座から引き落とされる「紀陽JCBデビットカード」を取扱っております。国内外約3,100万店のJCBマークのあるお店で24時間365日利用でき、海外のATM・CDでご預金を現地通貨にて引き出すことが可能です。(※)ご利用は預金口座のお支払可能額の範囲内だから使いすぎることなく、保険もついているので、安心してお使いいただけるカードです。

※海外現地通貨引き出しサービスのご利用には手数料がかかります。
※海外現地通貨引き出しサービスはJCBのマークまたはCirrusマークのあるATM・CDにてご利用いただけます。

年会費		
	本人一般カード	1,000円（税別）
	家族一般カード	500円（税別）

※初年度年会費は無料となります。
※次年度以降も所定の条件により無料となります。

資産運用に関するニーズへの対応

お客さまの多様な資産運用ニーズにお応えするために、定期預金をはじめ、投資信託、個人年金保険など幅広い商品ラインナップを取り揃えております。

また、資産運用に関するご提案を専門に行うマネーアドバイザー等を営業店に配置し、ゆっくりとご相談いただける専用ブースも設置しております。

◆投資信託

お客さまの多様なニーズにお応えし、投資目的等に応じて最適な商品をご選択いただけるよう、多くのファンドをご用意しております。

◆紀陽インターネット投資信託

インターネットを利用し、24時間365日お好きな時間に投資信託のお取引ができるサービスです。窓口ラインナップのほかにインターネット投資信託専用ファンドなど、多様な商品を取扱っております。

ご来店不要でお申込み可能!
※当行に普通預金口座をお持ちの方に限ります。

24時間365日いつでもお取引可能!
※システムメンテナンス時間を除きます。

申込手数料(税抜)が窓口より30%割引!
※投資信託自動積立は対象外です。

◆NISA・ジュニアNISA

紀陽銀行では、NISA・ジュニアNISAの口座開設申込や活用方法についてご提案しております。お子さま、お孫さまの将来に向けた世代ごとのお役立ち制度をご案内いたします。

◆資産運用セミナーの開催

営業エリア内の各地区でさまざまな「資産運用セミナー」を開催し、お客さまへの情報提供に努めております。

◆定期預金

紀陽銀行で年金をお受取りいただいたお客さまへの「年金定期預金」や、投資信託購入と同時にお預け入れいただいた際に特別金利を適用する「プレミアムパック」など、多様な商品を取扱っております。

※それぞれの商品でお取扱い期間や預入金額、その他お預かりに際して条件がございます。
※上に掲載しておりますチラシは平成29年6月現在のものです。

◆個人年金保険・終身保険・がん保険・医療保険等

お客さまのライフステージに合わせてご活用いただけるよう「個人年金保険」、「終身保険」をはじめ、「医療保険」や「がん保険」、「収入保障保険」等、各種保険商品を取り揃え、お客さまに適切な商品をご提案しております。

各種ローン

お客さまのライフステージに合わせたさまざまなニーズにお応えするため、住宅ローンのほかにも、自動車の購入や教育資金、リフォーム資金などにご利用いただけるよう各種ローンをご用意しております。また、お使いみちを限定しないフリーローン・カードローンの商品も幅広く取り揃えております。

※上に掲載しておりますリーフレットは平成29年6月現在のものです。

紀陽エンジョイ倶楽部Club Off

紀陽銀行でお給料をお受け取りいただいているお客さま限定のサービスを取扱っております。国内外の宿泊施設やテーマパーク・飲食店・映画など、会員さま限定のサービスを優待価格でご利用いただけます。

関西国際空港出張所での外貨両替相場割引

関西国際空港出張所では、円から外貨へ両替をされる際の相場を当行所定の相場から割引しております。米ドル・ユーロについては、紀陽提携クレジットカード・紀陽キャッシュカード・〈キヨー〉ふれあい倶楽部メンバーズカードまたは営業店備え付けの割引券をご提示いただければ、当出張所相場からさらに割り引きいたします。

また、JALマイレージバンク会員の方が、同出張所で外貨キャッシュを購入（両替）される場合、ご購入10,000円ごとに5マイルが積算されます。

（マイル積算には両替時に所定のお申込みが必要となります）

外貨自動両替機の設置

当行の営業エリアである和歌山県は、世界遺産・熊野古道や高野山、白浜温泉など観光資源に恵まれており、外国人旅行者が年々増加しています。

そのような中、当行は、外国人旅行者の皆さまの外貨両替ニーズにお応えできるよう、高野山支店・白浜支店・本宮支店の店舗内ATMコーナーに8種類の通貨に対応した外貨自動両替機を設置しております。

また、お客さまの外貨両替ニーズにお応えするため、平成28年12月には、外国紙幣から円への両替だけでなく、米ドルもご購入いただける外貨自動両替機を松江支店に設置いたしました。

〈キヨー〉ふれあい倶楽部

紀陽銀行で年金をお受け取りいただいておりますお客さま向けのサークルとして、「〈キヨー〉ふれあい倶楽部」を運営しております。入会のお申込みは不要で、紀陽銀行で「年金自動受取」の手続きをしていただければ、自動的に会員となります。（入会金、年会費は無料）

「〈キヨー〉ふれあい倶楽部」では、会員の皆さまに以下のようなさまざまなサービスをお楽しみいただいております。

サービス概要

♥〈キヨー〉ふれあい倶楽部 Club Off
全国の施設を特別優待価格でご利用いただけます。

♥セコム・マイドクタープラス
セコム株式会社が提供する見守りサービスです。

♥電話健康相談サービス
経験豊富な相談員が、健康や介護に関するご相談に無料で「24時間年中無休」対応いたします。

♥著名人・芸能人の講演会や各種観劇等へのご招待
各地で開催する著名人・芸能人による講演会や各種観劇等に抽選で無料ご招待します。

♥カルチャー教室へのご招待
各地で開催する人気の高いカルチャー教室に抽選でご招待します。

♥名産品プレゼント
当倶楽部が厳選した逸品を抽選でプレゼントします。

絵手紙教室

名産品プレゼント

大相撲観戦

利便性の高いチャネルのご提供

店舗の充実

◆新設オープン

平成28年5月16日に守口支店がオープンいたしました。守口市は、大阪市に隣接した地域ですが、これまで当行は支店を構えておらず、守口支店が市内第1号店となります。店舗内には住宅ローンセンターも併設しており、お客さまのローンに関するご相談にもお応えいたします。

また同年6月1日、泉ヶ丘駅前支店が大阪府南部におけるリテール営業の基幹拠点としてオープンいたしました。泉北高速鉄道「泉ケ丘駅」前の複合商業施設内に誕生した本支店は、情報雑誌等を取りそろえた本棚や大型テレビを設置し、キッズコーナーや授乳室もご用意しています。当支店以外のお客さまにもお気軽にお立ち寄りいただき、ローンや資産運用についてじっくりとご相談いただけます。

守口支店

泉ヶ丘駅前支店

◆移転改称オープン

平成28年11月7日、大阪北支店を店舗移転し、西天満支店と改称して新規オープンいたしました。新店舗は国道1号線「西天満」交差点付近のオフィスビル1階に移り、法人･事業主のお客さま専用の店舗から個人のお客さまにもご利用いただけるフルバンキングの店舗として生まれ変わりました。

西天満支店

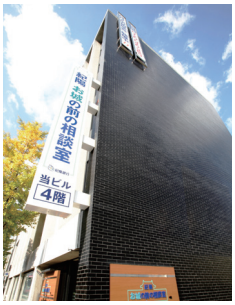
守口支店	平成28年5月16日 新設	守口市京阪本通1-2-3 損保ジャパン日本興亜守口ビル4階
泉ヶ丘駅前支店	平成28年6月1日 新設	堺市南区茶山台1丁2番3号
西天満支店	平成28年11月7日 移転/改称	大阪市北区西天満5丁目14番10号 梅田UNビル1階

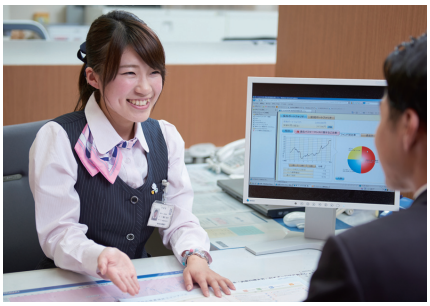
紀陽お城の前の相談室

「紀陽お城の前の相談室」では、就職、結婚、出産、教育、マイホームの取得、老後資金の準備、生前贈与、相続、遺言、等々…お客さまのライフステージ毎のさまざまなお金に関する悩みに、専門スタッフを配置して投資信託や保険をはじめとした資産運用のご相談や、年金、相続、遺言のご相談まで、ライフプランや家計に関するご相談に幅広くお応えしています。

また、外部講師や紀陽銀行のファイナンシャルアドバイザーを講師として、暮らしに役立つセミナーを多数開催しています。

和歌山市役所東隣の紀陽和歌山中央ビル4階で、平日は午後7時まで、土曜･日曜は午後5時まで営業し、お客さまの利便性向上を図っています。





ハローサービスセンター

お客さまのお役に立つ情報を発信するコールセンターです。さまざまな商品・サービスやキャンペーンなどのご案内を行っております。また、マイカーローンやカードローン等、各種無担保ローンに関するご相談受付も行っております。

商品・サービスのお問い合わせ	電話番号 **0120-037-389** （受付時間／9:00~17:00　銀行窓口休業日を除く）
無担保ローンの受付	電話番号 **0120-600-964** （受付時間／平日9:00~21:00、土・日・祝日 9:00~17:00 年末・年始の銀行窓口休業日を除く）
（個人向け）インターネットバンキングの操作方法について	電話番号 **0120-037-389** （受付時間／平日9:00~21:00、土・日・祝日 9:00~17:00 5月3日~5月5日、年末・年始の銀行窓口休業日を除く）

紀陽銀行 スマホ口座開設アプリ

平成28年4月より、スマートフォン専用「紀陽銀行　スマホ口座開設アプリ」の取扱いを行っております。本アプリは、総合口座の開設と「紀陽モバイル・インターネットバンキング」のお申込みがスマホのアプリ操作のみで完了するサービスです。時代にフィットした新しいお取引窓口としてお客さまに利便性をご提供するとともに、若年層のお客さまを中心にお取引開始のきっかけとして、ご利用いただいています。

CS向上への取り組み

紀陽銀行では、お客さまの満足度を高めるためのCS活動に日々取り組んでおります。各支店において「CSリーダー」が中心となり、お客さま応対や身だしなみ、店内清掃などの点検・総括・改善の話し合いを定例化。また、各支店での取り組みの中で効果的と思われる好事例については、行内に情報を還元するなど、CS活動の評価とレベルアップにつなげています。

全国銀行協会相談室について

全国銀行協会相談室は、銀行に関するさまざまなご相談やご照会、銀行に対するご意見・苦情を受け付けるための窓口として、一般社団法人全国銀行協会が運営しております。ご相談・ご照会は無料です。詳しくは、一般社団法人全国銀行協会のホームページ http://www.zenginkyo.or.jp/adr/をご参照ください。

銀行とのトラブルがなかなか解決しないお客さまは「あっせん委員会」をご利用いただけます。詳しくは、全国銀行協会相談室にお尋ねください。

電話番号
0570-017-109 または **03-5252-3772**
受付時間 9:00~17:00(銀行窓口休業日を除く)
※一般社団法人全国銀行協会は銀行法および農林中央金庫法上の指定紛争解決機関です。

紀陽保険コールセンター

「紀陽保険コールセンター」では、保険の専門スタッフが、お客さまにお電話でがん保険や医療保険などの保険商品のご案内をしています。お客さまにご来店いただくことなく、郵送によりお申込み手続きを完了することが可能です。

ATMの利便性向上

平成28年5月より、当行ATMご利用時の画面の視認性・操作性を向上させるため、ATM画面にユニバーサルデザイン(※)を採用しております。同時に、カード振込限度額を1回300万円から1回1,000万円未満へ増額するとともに、ATM宝くじサービスの連続購入機能や通帳磁気復元画面の改善などの機能拡充を行いました。また、ATM宝くじサービスが当行全ATM(※)でご利用いただけるようになりました。このほかにも、店舗内ATMには荷物置台を設置するなど、お客さまにより安心で快適にご利用いただけるATMコーナーづくりに努めています。

※ユニバーサルデザイン…年齢・性別・障がいの有無に関係なく、あらゆる人が商品・サービス・住居・施設を快適に利用できるように配慮したデザイン。
※病院等に設置する一部のATMを除きます。

バリアフリーへの取り組み

すべてのお客さまに安心してご利用いただける銀行を目指して、バリアフリーに取り組んでおります。目の不自由な方にもテンキーの操作によってご利用いただけるよう、すべてのATMに音声案内装置付きの受話器型附属機器を設置するほか、お取引明細などの点字通知サービスを実施しています。

また、コミュニケーションボードと耳マーク表示板を全店に設置しています。

コミュニケーションボード

耳マーク表示版

地域の皆さまとともに ～CSR（社会的責任）活動～

環境保全美化活動

紀陽フィナンシャルグループでは、「地域の環境保護活動に参画するとともに、環境保全に寄与する金融サービスを提供するなど、環境問題に積極的に取り組みます」という行動憲章の定めに則り、地域社会の一員として、役職員一丸となって地域の環境保全活動に取り組んでおります。

すばらしい自然環境に恵まれた地域とともに歩む紀陽銀行は、環境にやさしい金融機関をめざし、以下のとおり取り組みます。

1. 環境に関する法律、規制、協定などを遵守します。
2. 環境に配慮する活動は重要な経営課題であると位置づけ、環境に配慮した活動の情報開示に努めます。
3. 企業活動に伴う環境への影響を配慮し、省エネルギー・省資源により環境への負荷の軽減に努めます。
4. 金融商品・サービス・情報等の提供を通じ、環境に配慮するお客さまの取組みを支援します。
5. 環境方針を全役職員に徹底し、地球ならびに地域環境の保全に配慮して行動します。

環境に関連した金融商品

紀陽銀行では、「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」を活用した事業へ参入を検討している事業者さま向けに、再生可能エネルギー事業融資「紀陽エコビジネス」の取扱いを行っています。

紀陽CSR私募債

地域の企業の皆さまと共同で取り組むCSR活動として「紀陽CSR私募債」の取扱いを行っております。本商品は、当行が私募債発行企業さまから受け取る手数料の一部（私募債発行額の0.20%相当額）を拠出し、地域の教育・医療・福祉施設や環境保護団体などに寄贈するもので、寄贈対象先はお客さまにお選びいただくことができます。平成28年6月の取扱開始より、お客さまから高い関心をいただいております。

熊野古道の参詣道環境保全活動

「世界遺産」熊野古道は、年間を通して雨量が多い地域にあり、台風などの被害にもたびたび見舞われています。紀陽銀行では、熊野古道参詣道の傷みを修復し、その価値を守り次代へ伝えていくためのボランティア活動を行っています。毎回多くの行員が参加し、和歌山県世界遺産センターの職員の方の立ち会いのもと、中辺路の道普請（土の補充）を実施してきました。今後も地域の環境価値と文化価値を守る活動に、一層力を注いでまいります。

和歌山県「企業の森」事業

紀陽銀行では、和歌山県が森林の環境保全を目的に実施している「企業の森」事業に平成18年より参画しています。毎年、行内でボランティア参加者を募り、森林の保全活動を行っており、平成28年11月には、和歌山県田辺市の「紀陽の森」において、役職員118名がウバメガシなどの苗木の植栽に取り組みました。

※詳しくは、P33の活動レポートをご覧ください。

「小さな親切の会」活動

紀陽銀行では、公益社団法人「小さな親切」運動本部に加入しており、毎年、同会の活動の一環として、各営業店エリアにおける清掃活動や地元の催し物へのボランティア参加、献血への協力などの活動を行っております。

社会貢献活動

紀陽フィナンシャルグループの行動憲章では、「環境問題への取り組み」とともに「社会貢献活動への取り組み」を定めており、地域社会とともに歩む「良識ある企業市民」として、芸術文化、スポーツ振興支援、地域行事への参加など地域・社会貢献活動に取り組んでおります。

一般財団法人　紀陽文化財団

■紀陽コンサートの開催

芸術と文化を通じた豊かな地域社会づくりを目指す活動の一環として、平成7年より一般財団法人紀陽文化財団が開催している「紀陽コンサート」。毎回ご好評をいただいております。

平成28年9月には、飯森範親さん（指揮）・三浦友理枝さん（ピアノ）・日本センチュリー交響楽団をお迎えしたコンサートを、平成29年1月には、中嶋彰子さん（ソプラノ）と青木ゆりさん（ピアノ）をお迎えしたコンサートを行いました。

■美術館・博物館への無料ご招待

和歌山県立近代美術館・博物館で開催される特別展をはじめとした展覧会に地域の皆さまをご招待しております。

また、毎月第4土曜日を「紀陽文化財団の日」とし、和歌山県立近代美術館・博物館への大学生の入場料を負担し、無料としております。

スポーツを通じたCSR活動

■バスケットボールクリニック（ジュニアへの指導）

紀陽銀行の女子バスケットボール部「紀陽ハートビーツ」は、「スポーツを通じた地域社会の皆さまへの貢献」を目指しており、日々のトレーニングに加えて、地域の小中高校生を対象にバスケットボールクリニック（ジュニアへの指導）を展開しています。平成28年度は、全国大会で特に優秀な成績を挙げた団体に授与される「和歌山県スポーツ賞」を受賞いたしました。これからも、地元に愛されるチームとして活動を続けてまいります。

なお、「バスケットボールクリニック」を希望されるチームを募集しております。ご希望の際には右記までご連絡をお願いいたします。

◎お問い合わせ先
紀陽銀行　人事部内　紀陽ハートビーツ事務局
担当：金谷（かなや）　TEL 073-426-7136
（平日9:00～17:30）

営業店のCSR活動

紀陽銀行の各営業店では、地域での清掃活動をはじめ、地域のイベントへの参加やボランティアでのお手伝いなど、地域に貢献できるような活動を積極的に行っております。

各種大会への協賛・地域行事への参加

紀陽銀行は、少年野球大会をはじめ、さまざまな地域イベントに協賛しております。また、「和歌浦ベイマラソンwithジャズ」の運営ボランティア派遣や和歌山市の夏の中心的なイベントの一つである「紀州おどり」への参加など、地域の各種イベントへの参加を通じ、地域の皆さまとの交流を深めております。

紀州おどり

地域の金融教育への取り組み

■和歌山大学、和歌山高専での講義

和歌山県が実施している「産業人材育成支援事業」の一環として、和歌山大学で当行の役員が「和歌山企業トップ経営論」の講義を行っております。

また、和歌山工業高等専門学校においても、「企業実践講座」と題し、行員が講義を行っております。

■高校生を対象にした金融教育の実施

紀陽銀行では、金融教育の一環として金銭基礎教育授業「MoneyConnection®」へ協賛しております。「MoneyConnection®」の公認実施団体である特定非営利活動法人キャリア・ファシリテーター協会と協力し、高校生を対象にした認定講師による出張授業を行い、「働くこととお金」について学ぶ機会を提供しております。

企業の森活動レポート

紀陽の森 第2ステージ 田辺市でスタート

紀陽銀行では、森林の環境保全を目的に和歌山県が主体となって企業の協働を募る「企業の森」事業に参画。平成18年より毎年、日高川町愛川の「紀陽の森」において、行員のボランティア参加により、植栽と育成活動に取り組んできました。

平成28年に、この取り組みの第2弾が田辺市でスタート。平成28年11月12日、松岡頭取以下役職員約120名のボランティア参加により、森林育成計画の初頭を飾る植栽を行いました。

120名が爽やかな秋空に

「紀陽の森」の第2ステージは、田辺市鮎川。国道311号線を見下ろす小高い山林で、熊野古道の中辺路ルートに近接しています。

この日は天候も良好、ボランティア参加の一行は集合場所からバスに乗り込み、休憩をはさんで現地へ到着。森の爽やかな空気で一息ついたら、すぐに開会式。まず松岡頭取が挨拶に立ち、新たに10年計画で行われる今回の森林育成への思いとともに、参加者への感謝の言葉を述べました。続いて従業員組合代表によるメッセージがあり、ご来賓として、和歌山県西牟婁振興局長さまおよび田辺市副市長さまからご挨拶を頂戴しました。その後、松岡頭取らによるヤマザクラの記念植栽が行われ、いよいよ120名による植栽が一斉にスタートしました。

10年未来の美しい森が見える

参加役職員は西牟婁森林組合の方から植栽についてのレクチャーを受けた後、10班に分かれて苗木とくわを手にそれぞれの植栽場所に移動。ヒノキの伐採跡の約1.5haの土地に、ヤマザクラや紀州備長炭の原木であるウバメガシの苗木を植えていきます。

植栽場所の一部は、かなり急な傾斜地。あらかじめ踏み分けの道が造られているものの、傾斜を登っての植栽はけっこう体力を使う作業。周辺の落ち葉を取り払う、苗木を丁寧に植える、周囲を軽く踏み固める（植えた苗木が抜けてしまわないよう）、上から再度落ち葉をかけておく（水分や養分が保持できるよう）…と、一連の手順を、安全確保をしながらこなしていきます。

森林組合の皆さんにもサポートしていただき、1人3本ずつの割り当ては順調に進行。秋の山中とはいえ参加者の額にはうっすら汗が。「まさかこんなにいい運動になるとは…」と笑いあう声も。最後に、参加者一人ひとりが、それぞれの想いを記した記念プレートを立てて終了となりました。

今後は、下草刈りを中心とした森林保全活動を予定しています。今回植えた苗木の成長を楽しみに、引き続き、自然豊かな「紀（木）の国わかやま」を守り、次の世代に受け継いでいく活動に力を注いでいきたいと思います。